

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぱぶりか		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月18日		
○ 分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の特性や課題を踏まえた適切な支援・対応</li> <li>保護者面談を実施して保護者のニーズや課題の理解と分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の支援計画をスタッフ全員で把握する。</li> <li>全スタッフが支援の手立てを行えるように支援一覧表を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の課題解決に向けた支援の共通実践</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の合同研修会や新人研修、法人内研修会への参加により、資質の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性を高めるために外部研修を推進している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修内容を支援に還元することで、支援のスキルアップを図る。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動ルームを遊びエリアと運動エリアに分けて、活動内容に合わせて活用することでより充実した活動が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に集中したい時には、パーテーションを立てて個別スペースを確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援が必要なタイミングと学習の進捗状況の確認</li> </ul>
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマルアセスメントの結果を踏まえた具体的な支援内容の決定・実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーマルアセスメントの結果を振り返る場や時間の確保が不足している。</li> <li>医療機関や検査機関からの助言を得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務的業務の見直しと効率化並びに人員の確保</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>年数回実施している保護者交流会や研修会、法人行事への参加者が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会や行事の目的や内容の周知ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある内容の計画、分かり易い案内状の作成、連絡ノートでの周知</li> </ul>
3			

事業所名

児童デイサービス  
ぱぷりか

公表日 令和8年3月19日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	① 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・活動ごとに場所を区切って、児童が密にならないよう配慮されています。	
	② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4		・支援員が不足しています。人材確保に努めていきます。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		・トイレがバリアフリー化されていないため車いすの児童を預かることになった際には検討します。 ・高学年児童のトイレ介助の際に少し狭い。 ⇒費用のこともあるため要相談。改善策としてパーテーションを入りに立て、トイレ外でも介助可能にします。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日の清掃作業に加え、定期的にエアコン、空気清浄機フィルター掃除を行っています。空間除菌のためクリーンリフレを導入しています。 ・室内の湿度にも十分に配慮して対応しています。	
	⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・オープンフロアのため、パーテーションで区切って1人になれる環境を作ってあげられる状況にあります。また、玄関フロアも利用して対応しています。 ・学習スペースでは机の向きや配置にも配慮し、個々が集中して取り組めるよう工夫しています。	
業務改善	⑥ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・会議等でなくても、気になったことは業務、支援に関わらず問題提起して相談しながら業務を行っています。	
	⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		・評価会議を行って、内容を全スタッフに周知し、評価されたことを真摯に受け止め、ご意見があった業務に関しては改善させていただき、周知が足りていない部分は周知方法の改善を迅速に行います。
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・管理者への報告や相談がその都度できる関係性ができているので、その都度問題提起をして、必要であれば会議などで取り上げています。	
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・外部評価として施設環境整備、記録、児童への支援方法や態度についてそれぞれ担当3名の理事が巡回して確認を行っています。	・第三者の外部評価に関しては今後も行う予定はありません。
	⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・法人研修会月1回、外部研修会にも積極的に参加しています。	

適切な支援の提供	⑪	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・作成して HP に公表したのち、4 月に安全計画等と一緒に配布し、説明が必要な場合にはご連絡をいただき回答しています。	
	⑫	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・年 2 回の面談の他、日々の支援の中で情報共有、問題が起こった時に状況を詳しく聞き、またこちらでのトラブルに関しては説明をしてその都度アセスメントを行っています。	
	⑬	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・モニタリング会議には、支援スタッフ全員が参加し意見を出し合っています。 ・日々変化する子どもの課題に対しても保護者に相談してアセスメントを行っています。	
	⑭	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画の内容を一覧にして、いつでも確認ができるように支援担当スタッフ全員に配布しています。また自分の担当児童だけでなく、全員が支援内容を確認できるように、全員児童分を一覧にしています。	
	⑮	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・インフォーマルアセスメントを中心にアセスメントを行うことが多いです。フォーマルアセスメントは、契約時や受給者証の更新時など、事業所ではなく他で行った検査や聞き取りを行った情報を共有しています。	
	⑯	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・面談で保護者から聞き取りを行い、ニーズに合わせて目標を設定していますが、保護者からの意見がない場合もあるため普段の様子から判断して目標、支援内容を提案することもあります。その際に、5 領域の項目を網羅し、なおかつ本人に必要なと思われる支援をスタッフ全員で判断して提案しています。	
	⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・集団療育活動は活動計画会議を行い、5 領域に合わせて活動を設定、活動内容が偏らないように、療育活動を担当しているスタッフ全員で相談した上で決定しています。	
	⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・年間の活動計画(5 領域)を定め、月ごとに 5 領域の項目が偏りなく行えるよう工夫しています。その上で、その月の曜日ごとに活動内容を決めていきます。表にして分かりやすく提示し、担当スタッフが具体的に活動を考える時に、活動のめあてを設定しやすいよう配慮しています。	
	⑲	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・放デイ計画の支援内容欄に明記しており、集団療育活動は月ごとに内容を変更し、様々な体験や活動ができるように配慮しています。	
	⑳	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・毎朝ミーティングを行い、送迎時間なども合わせて確認を行っています。	
	㉑	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・会議という場ではありませんが、その日の良かった点、改善が必要な点は送迎担当スタッフ以外で、口頭で行っています。しかし児童見送り後 30 分で退勤時間ということもあり事務作業、清掃作業等によってできないこともあります。	・業務時間上難しいが、全員に周知が必要な事例に関しては、次の日の朝のミーティング時、またはスタッフ会議時に必ず共有を行うようにしています。

適切な支援の提供	②	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・メモを取り、担当スタッフが対応できなかった時でも支援したスタッフがメモを残しておくことで記録を残すことができるよう工夫しています。
	③	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・年2回行っています。また、児童の様子によって支援内容の一時的な変更などは、保護者に確認、相談をして了承を得た上で行っています。
	④	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	0	・放デイ計画、療育活動計画作成時に配慮して組み込み、支援計画を立てています。
	⑤	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・サークル活動の中で自分で計画し、活動を進める取り組みをしています。 ・運動プログラムでは、自分で取り組める時間を考慮して時間ごとにカードを分けてその中から選択できるように工夫。サブスクおもちゃも選びやすいよう表にして掲示しています。
関係機関や保護者との連携	⑥	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・新規児童受け入れ時や支援経過で相談が必要な場合に、相談支援事業所の担当者や連絡を取り、会議を開催してもらっています。児童の担当者が他のスタッフからも様子を聞いた上で参画しています。
	⑦	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・協力医療機関はやわたクリニック。学校はもちろん、児童相談所とも定期的にやり取りがあり、計画相談員の連携で、発達支援センターの桂堂学園や虹との連携ができます。
	⑧	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・主に送迎時に伝達し合っています。必要があれば、直接電話連絡を行うこともあります。
	⑨	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・必要時の体制はできています。主に計画相談事業所を通して行っています。
	⑩	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・現在までに実例はないですが、必要な時の体制はできています。
	⑪	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・今年は虹主催の言語聴覚士の研修会に参加しました。 ・子どもの支援に関わる研修には年数回参加している。
	⑫	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・放課後児童クラブ、児童館との交流は今後も行う予定はありませんが、こども夏祭りを開催し、地域のこども達(小菊荘)との交流に努めています。
	⑬	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・様々な状況をよく理解している部長が参加している。
	⑭	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡ノートやメール機能を活用して日々のやり取りをしています。又、送迎時に必要な情報交換を行っています。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プログラムとして作成はしていませんが、放デイ計画に記載して対応しています。研修会についても今年は1度開催、その他に役所から周知依頼があるなしに関わらず、情報提供しています。</li> </ul>	
保護者への説明責任	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>主に契約時に行っています。</li> <li>変更になった部分は、その都度文書で説明します。</li> <li>利用者負担に関しては、支払額通知書を作成し毎月保護者の確認印をいただいています。支援プログラムに関しては、年度初めに他の計画書類と一緒に配布し、説明が必要な方には説明を行っています。</li> </ul>	今後も年度毎に、配布できるものは配布して確認していただきます。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング時期には保護者面談を必ず行い、意向の確認を行っています。</li> </ul>	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング時期に面談を行っているため、働いている保護者の時間の都合を考慮して改めて面談は行わず、書面を配布し確認していただいています。内容を確認して、面談時に話した意向と違うと感じた場合や訂正してほしい内容がある場合は連絡をくださるよう明記し、口頭での説明が必要な場合はその都度電話や必要に応じて面談を行って説明をしています。</li> </ul>	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話や連絡ノートを通じて行っています。又、必要に応じて面談で対応しています。</li> </ul>	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、きょうだい児参加の交流会、法人行事を行っています。今年は講師を招いての勉強会も開催いたしました。</li> </ul>	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見箱を玄関に設置しています。現在苦情はありませんが、苦情があった場合には対応スタッフを定め、迅速かつ真摯に対応します。</li> </ul>	
	42	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月ばぶりがだよりの発行。毎週更新のスタッフブログ。連絡しやすいよう LINE を使用しての連絡等工夫して発信しています。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、写真使用のため保護者に確認を行い、一覧を作成しブログ等で写真を使用する際に配慮しています。又個人ファイルにまとめ、鍵のついたキャビネットに保管しています。</li> </ul>	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童だけでなく保護者への配慮として、電話、連絡ノート、LINEなどのツールを使い分け、連絡を取りやすい方法、時間帯などにも配慮しています。</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>招待するような催しは行っていませんが、事業所に直接相談にいらっしゃる方には対応しています。(以前にあった事例：道案内、障害児の受け入れ可能な床屋さんのパンフレットを置いてほしい、民生委員の方への事業所概要説明)</li> <li>法人行事として行っています。</li> </ul>	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度毎に見直し、スタッフ全員で確認しています。保護者へはホームページ上(会員ページ)で公開し、常時確認ができます。又、各種マニュアルは常時閲覧できるように玄関にもファイルして設置してあります。自然災害、感染症BCP訓練を実施し、実践に近い訓練を行っています。</li> </ul>	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練、防災訓練を行っています。それに加えて、スタッフも年数回の自然災害BCP訓練を行い、災害に備えています。</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬については、薬の変更の度に説明書のコピー提出をお願いし、全スタッフに周知し、個人ファイルに保管しています。</li> </ul>	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在医師の指示を受けている児童はいないため、アレルギーを持つ児童が利用することになった際には適切に対応していきます。</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の安全計画を作成し、計画に従って研修や訓練を実施しています。(BCP訓練含む)</li> <li>・スタッフの訓練だけでなく、毎月児童に対しても避難訓練や安全指導を行って、危機管理について学ぶ場を設けています。</li> </ul>	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画を作成しています。(毎月の避難訓練、BCP訓練を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大災害時、津波警報が出された時の対応について、今年度春に保護者へ周知されています。今後も随時訓練時に保護者への周知が必要な内容が出てきた時にはその都度周知します。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ会議で法人全体の事故報告、ヒヤリハットを共有し、業務する上で配慮しています。</li> </ul>	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修会で毎年研修を受けています。研修だけでなく、日々の児童への対応で不適切に感じた場合は、対応を変えるなど周りがフォローを入れるように心がけています。</li> </ul>	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今現在は計画に記載して身体拘束を行わなければならないような児童はいません。今後、そういう状況が必要になった際には、適切な段取りを経て行います。</li> </ul>	